

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	
登録診療科	泌尿器科	申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 年 月
レジメン名	VeIP		
疾患名	精巣腫瘍	適応の備考	クリニカルパスがある
適応分類			
1コース日数	21	日間	総コース数
抗がん剤投与量・投与日	エクザール0.11mg/kg day1-2、イホマイド1200mg/m ² day1-5、シスプラチン20mg/m ² day1-5		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	ソリューゲンF500mL	2 本 / body	4 時間	●	●	●	●	●	●															
	点滴静注																								
2	側管	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	フロイメド注150mg	1 本 / body	30 分	●																				
3	側管	アロキシ注パック0.75mg	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																				
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																				
4	側管	生食50mL	1 本 / body		●				●																
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●				●																
5	側管	生食50mL	1 本 / body						●	●															
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分					●	●															
6	側管	生食50mL	1 本 / body		●	●																			
	点滴静注	エクザール注	0.11 mg / kg	5 分	●	●																			
7	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	点滴静注	イホマイド注	1200 mg / m ²	2 時間	●	●	●	●	●																
8	側管	生食100mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	点滴静注	ウロミテキサン注	300 mg / m ²	30 分	●	●	●	●	●																
(イホマイド投与開始と同時に投与を開始する。)																									
9	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	点滴静注	シスプラチン注	20 mg / m ²	60 分	●	●	●	●	●																
シスプラチンと同量の生食を抜いて混注する																									
10	主ルート	ソリューゲンF500mL	2 本 / body	4 時間	●	●	●	●	●																
	点滴静注																								
11	側管	生食100mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	点滴静注	ウロミテキサン注	300 mg / m ²	30 分	●	●	●	●	●																
イホマイド投与開始後4時間後に投与する。																									
12	側管	生食100mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	点滴静注	ウロミテキサン注	300 mg / m ²	30 分	●	●	●	●	●																
イホマイド投与開始後8時間後に投与する。																									
13	側管	生食100mL	1 本 / body						●	●	●														
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分					●	●	●														
day8は主ルート																									

【投与上の注意】

- ・フロイメドは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・フロイメドは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・フロイメドの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- ウロミテキサン: 300mg/m²をイホマイドの投与開始と同時に、投与開始後4時間後、8時間後に30分かけて投与する。
- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- シスプラチン: 適宜利尿剤を投与
- イホマイドによる出血性膀胱炎予防のため、ウロミテキサンを併用すること。